

【断熱改修等チェックリスト】

記入例

・補助を受けるためには、1~4のいずれかの工事を行う必要があります。

申請者氏名 見附 太郎

1. 窓の断熱改修

- ・該当する項目に✓を入れ、必要事項を記入してください。
- ・窓やガラスが複数ある場合、平面図に窓1、窓2などと箇所がわかるように記し、記入例のように記入してください。
- ・内窓の厚さ構成は、フレーム種別、ガラス種別を書いてください。

工事の種別	窓の数 ガラスの枚数	熱貫流率(W/m ² ・K)または内窓の厚さ構成(mm)
<input checked="" type="checkbox"/> ガラス交換	1枚	ガラス1:2.33
<input checked="" type="checkbox"/> 外窓交換	2窓	窓1:1.67 窓2:1.67
<input checked="" type="checkbox"/> 内窓設置	1窓	窓3:樹脂フレーム、Low-E複層ガラス

Low-E複層ガラスと表記してください

2. 外壁、屋根、天井又は床の断熱改修

・該当する項目に✓を入れ、必要事項を記入してください。

	項目	記入欄
<input checked="" type="checkbox"/> 外壁の断熱改修 <input type="checkbox"/> 屋根の断熱改修 <input type="checkbox"/> 天井の断熱改修 <input type="checkbox"/> 床の断熱改修	1. 住宅の構造・工法	木造在来工法
	2. 断熱工法	充填断熱工法
	3. 断熱材の種類	高性能グラスウール断熱材16K
	4. 表1における断熱材区分	C
	5. 断熱材の熱伝導率(W/m・K)	0.035
	6. 断熱材厚さ(mm)	100

・算定式(断熱材の最低厚さ=熱抵抗値×熱伝導率×1000)による場合は、上の表の1~3及び6の項目を記入するとともに下の欄に数値を記入してください。

断熱材の最低厚さ(mm)	熱抵抗値(m ² ・K/W)	熱伝導率(W/m・K)
88	2.2	0.04

3. 浴室等暖房機設置

Excelで入力する場合、最低厚さは自動計算になっています。

・該当する項目に✓を入れてください。

<input checked="" type="checkbox"/> 暖房機設置	暖房機を設置する部屋
	<input checked="" type="checkbox"/> 浴室 <input type="checkbox"/> 脱衣所

4. 床暖房設置

・該当する項目に✓を入れ、必要事項を記入してください。

<input checked="" type="checkbox"/> 床暖房設置	床暖房を設置する部屋
	脱衣所

床暖房を設置する部屋を記入してください